

誌 2: 159-161 (柏田研一と共著).  
 1935 朝鮮産アサクサノリの沃度に就て. 日水会誌 239-241 (北山 修と共著).  
 —— 海藻の化学. 厚生閣, 東京 (大谷武夫と共著).  
 1936 朝鮮海苔の生理に関する研究 (第四報). 朝鮮総督府水産試験場年報 7: 1-135.

1937 朝鮮海苔の生理に関する研究 (第五報). 朝鮮総督府水産試験場年報 8: 1-131.  
 朝鮮海苔の生理に関する研究 (第六報). 朝鮮総督府水産試験場年報 9.  
 1957 ノリの人工採苗と天然採苗. 水産増殖 4(4): 10-14.

## 学 会 録 事

### I. 評議員会

昭和54年10月1日(15:00~19:00) 広島大学 大学会館第3集会室にて開催された。

出席者 会長: 黒木宗尚。評議員: 大森長朗, 小林弘, 千原光雄, 坪 由宏, 松井敏夫, 山岸高旺。幹事: 増田道夫, 山田家正。

54年度総会に提出する報告事項, 議題について審議がなされた。審議内容は次項の総会報告と重複するので, 次項で報告する。ここでは第3回春季大会の会計報告がなされ, 審議の結果承認されたことだけを記す。

### II. 昭和54年度総会

昭和54年10月2日(17:00~18:00) 広島大学 大学会館大集会室にて開かれた。会長挨拶のあと, 議長に大森長朗氏(山陽学園短大)が選出され, 審議に入った。

#### 1. 報告事項

(1) 庶務関係 ① 会員状況 (54.8.31現在) 各誉会員1名, 普通会員482名, 学生会員46名, 団体会員40件, 賛助会員13件(14口), 外国会員65名(定期販売50冊, 交換・寄贈 国内5件, 外国12件)。② 会員

表-1 昭和53年度決算報告

日本藻類学会

収 入 の 部 (円)	支 出 の 部 (円)
会 費 1,986,362	印 刷 費 2,277,610
〔国内 561件 1,749,150〕	〔26巻1~4号, 別刷〕
〔国外 76件 237,212〕	〔選挙関係〕
バックナンバー売上金 470,600	発 送 費 136,530
別 刷 代 206,512	〔26巻1~4号〕
論文頁超過負担金 151,000	〔選挙関係〕
預 金 利 子 48,144	通 信 費 31,260
山田博士追悼号刊行委員会より返金 50,000	編 集 費 21,090
コンプ論文集刊行委員会より寄付 25,353	庶 務 費 321,680
	〔事務用品, 販売雑誌〕
	〔郵送料, 事務整理補助〕
	送換金手数料 4,160
	謝 金 50,000
	幹 事 手 当 70,000
	春季大会運営補助金 60,000
春季大会要旨・プログラム代 (春季大会会計より) 39,400	春季大会要旨・プログラム代 39,400
小 計 2,977,371	小 計 3,011,730
前年度繰越金 1,251,459	残 額 1,217,100
合 計 4,228,830	合 計 4,228,830

昭和54年1月20日

本決算書は適正なものと認める。

日本藻類学会 会長 西 沢 一 俊 ㊟

会計監事 岩 本 康 三 ㊟

会計監事 徳 田 廣 ㊟

表一 山田幸男博士記念事業基金特別会計決算報告

日本藻類学会

取 入 の 部 (円)		支 出 の 部 (円)	
山田博士追悼号刊行事業残金	496,026	次年度へ繰越	558,239
寄 付 金	10,000		
追悼号売上金	52,213		
合 計	558,239	合 計	558,239

昭和54年1月20日

日本藻類学会 会長 西 沢 一 俊 ㊤

本決算書は適正なものと認める。

会計監事 岩 本 康 三 ㊤

会計監事 徳 田 廣 ㊤

表一 会費改正額及びバックナンバー販売価格改正額 (昭和55年度より実施)

	現 行			改 正 案	
	円	円		円	円
会 費					
普通会員	3,000	4,000	学生会員	1,500	2,500
外国会員	4,000	5,000	団体会員	4,000	5,000
賛助会員	10,000	15,000			
バックナンバー (単価)					
会員 国内	750	1,000	国 外	1,000	1,250
非会員 国内	1,500	1,500	国 外	1,800	1,800
インデックス					
会員 国内					
1-10	1,000	1,000	国 外	1,500	1,500
11-20	1,500	1,500		2,000	2,000
非会員国内					
1-10	1,500	1,500	国 外	2,000	2,000
11-20	2,000	2,000		2,500	2,500
非会員予約講読料	1,500	1,500			

移動については会誌 27: 62, 112-114, 229-230 に掲載  
ずみ。③ 事業報告 a. 54年1月に学会事務局が東京  
学芸大より北大理学部に移転した。b. 第3回春季大  
会が54年4月1日東京水産大にて開催された。④ そ  
の他 文部省科学研究費補助金研究成果刊行費<学術  
定期刊行物>の54年度申請は前事務局の下で行われ  
たが、不採択となったので、改めて55年度申請する。

(2) 評議員関係 54年4月1日に東京水産大におい  
て開かれた(詳細は会誌 27: 111 に掲載報告ずみ)。

(3) 編集関係 54年3月31日に東京水産大で編集  
委員会が開かれた(会誌 27: 111-112 に掲載報告ず

み)。投稿規定が一部改正されて英文と共に会誌 27:  
171-172 に掲載された。

## 2. 議 題

(1) 53年度会計決算報告・同監査報告 53年度決  
算については54年1月20日 会計監事岩本康三氏と  
徳田廣氏の監査を受け、別表-1, 2の通り報告承認さ  
れた。

(2) 54年度会計中間報告 54年1月1日から8月  
31日の分について中間報告がなされ、承認された。

(3) 55年度事業計画案 ① 第4回春季大会は55年  
3月31日~4月1日に東京水産大において開催する。

詳細については会誌 27: 173 に掲載済み。② 総会 55 年度は春季大会開催時、4 月 1 日に東京水産大で開催することが承認された。③ 会長並びに評議員選挙期日については 55 年度総会で決定される旨諒承された。④ 秋の集会・懇親会 日本植物学会第 45 回大会開催時(仙台)に懇親会を主体とした集会を行う。詳細は来年度総会時に決定する。

(4) 会計監事として川端清策氏(道都大)と三上日出夫氏(札幌大)が選出された。

(5) 会費・バックナンバー販売価格改正及び関連の会則改正の件 近時物価高騰のため学会の事業費がかさみ、現行会費では 55 年度の学会運営が困難であること、また近い将来会員名簿、索引等の印刷が予定されているため、その財源確保の必要があること等の説明が幹事により行われた。慎重審議の結果、会費及びバックナンバー販売価格改正が承認された(表-3)。このことに伴う会則の改正も下記の通り承認された。

昭 54 年度総会での審議・承認事項と関連の会則改正(下線部)

第 8 条 普通会員は毎年会費 4,000 円(学生は 2,500 円)を……略……。外国会員の会費は 5,000 円とする。団体会員の会費は 5,000 円とする。賛助会員の会費は 1 口 15,000 円とする。

付則 第 5 条 会員がバックナンバーを求めるときは各号 1,000 円とし、……略。

付則第 6 条 本会則は昭和 55 年月 1 日 1 より改正施行する。

(6) 昭和 55 年度予算案 上記会費改正に基づく 55 年度予算案(表-4)が提出、審議され承認された(註参照)。

(7) 山田幸男博士記念事業基金の件 本基金による事業についての検討が評議員会で行われており、来年度総会において具体案が提出される旨の報告があった。事業を行う場合基金の充実を計る必要があり、そのために学会出版物「日米科学セミナー記録」と「コンプレックス」の販売代金を本会計から昭和 54 年度より繰入れることが提案され、承認された。なお、山田

表-4 昭和 55 年度予算案

日本藻類学会

収	入 (円)	支	出 (円)
会 費	2,420,000	印 刷 費	2,880,000
普通会員 480 名		28 巻 1~4 号 254 万 (各 50 頁+超過頁)	
学生 // 46 名		別 刷 19 万 (学会負担分 3 万を 含む)	
外国 // 56 名		春季大会プログラム・講演要旨 15 万	
団体 // 40 件		発 送 費	150,000
賛助 // 14 口		通 信 費	60,000
定期販売 50 セット	300,000	編 集 費	95,000
バックナンバー売上金	400,000	通 信 費 65,000	
別 刷 代	160,000	論文審査料 30,000 (30 件×1,000 円)	
論文頁数超過負担金	140,000	庶 務 費 (事務補助を含む)	120,000
預 金 利 子	25,000	送換金手数料	10,000
広 告 代	80,000	幹 事 手 当 (6 名×12,000)	72,000
		春季大会運営補助	40,000
		幹事旅費補助	50,000
		(総会出席 札幌-東京)	
		選挙費用 (印刷・通信)	60,000
小 計	3,525,000	小 計	3,537,000
前年度繰越金	1,020,000	予 備 費	1,008,000
合 計	4,545,000	合 計	4,545,000

先生追悼号の販売をより促進することが確認された。

[註] 本予算案は上記山田基金に学会出版物販売代金(昭和54年8月31日現在, 82,500円)を繰入れることが決定されたため, 54年度繰越金に変更が生じ総会において修正提案, 審議の上承認されたものである。

### III. 懇親会

総会に引続いて懇親会が同じ大集会室で開かれた。75名の参加者があり盛会であった。なお, 54年度の評議員会, 総会及び懇親会の開催に当って, 会場の設営, 会の運営などについてご配慮いただいた日本植物学会第44回大会委員長鈴木兵二氏, および本学会員中野武登氏に対し, 心からお礼申し上げる。

総会・懇親会出席者: 秋山 優, 鯨坂哲朗, 有賀祐勝, 安藤一男, 池森雅彦, 石川依久子, 糸野 洋,

井上 勲, 岐佐耕三, 植木洋子, 上山 敏, 梅崎 勇, 榎本幸人, 大島海一, 大野正夫, 大森長朗, 岡崎恵視, 奥田武男, 奥田敏統, 奥田弘枝, 長田敬吾, 加藤久美子, 加藤光雄, 川端清策, 木村憲司, 国藤恭正, 熊野茂, 黒木宗尚, 小林艶子, 小林 弘, 斎藤捷一, 斎藤実, 阪井與志雄, 嵯峨直恒, 佐野 修, 鈴木兵二, 瀬戸良三, 造力武彦, 高橋永治, 建 武, 田中次郎, 谷口森俊, 千原光雄, 坪 由宏, 坪井 悟, 津村孝平, 寺尾きみ子, 出井雅彦, 中沢信午, 中野武登, 中村優子, 中村義輝, 南雲 保, 西浦宏明, 西澤一俊, クール・バック, 原 慶明, 坂東忠司, 半田信司, 廣瀬弘幸, 福島 博, 藤井美奈子, 舟橋説往, 堀口健雄, 本羽泰正, 増田道夫, 三浦昭雄, 宮地和幸, J・E・メリル, 本村泰三, ジルセ道子 山岡-矢野, 山岸高旺, 山田家正, 吉崎 誠, 吉武嵯紀子。

### 新 入 会

住 所 変 更

退 会 川北四郎 (神奈川県) 倉田洋二 (東京都) 東田 脩 (香川県)

本会会員清水弘文氏は去る昭和54年7月4日逝去されました。  
謹んで哀悼の意を表します。

日 本 藻 類 学 会



**To Overseas Members**

It was agreed at the October 1979 Annual Meeting of the Japanese Society of Phycology that, as a result of an increase in the per unit cost of the Journal, membership dues would have to be increased from 1980. The new rate is 5,000 Japanese Yen. (4,000 Yen for 1979)